

# 解砕・液噴霧装置付ロックミキサー

Rocking Mixer with Disintegrating and Liquid-spraying Function

粉体の混合における添加剤入り溶液の噴霧は、固・液分散、粉体表面処理、多孔質粉体への液浸透、粒径調整などの目的で行われている。

この場合、液噴霧すると凝集粉体が発生するため、それを砕く解砕工程が必要となる。

本装置は、この点を解決するために従来の液噴霧機構付ロックミキサーに解砕機構を付加し、混合と解砕を同時に処理できるようにしている。更に、混合容器が容易に脱着できるというロックミキサーの特長をそのまま活かすため、液噴霧部、解砕部どちらも混合容器との切り離しがワンタッチで行えるようにしてある。

液噴霧と解砕部を取り外せば通常の混合容器としても使用できるようになっている。

液噴霧部は、液タンク、液送ポンプ、液送チューブ及び液噴霧ノズルで構成され、液送ポンプは噴霧する液量を正確にコントロールするため、ダイヤフラム式を採用している。

解砕部は四枚解砕羽根で構成されており、羽根の回転数は、様々な粉体の解砕に対応できるように、インバータで可変としている。混合容器の内面には、粉体の付着防止用にテフロンコーティングが施されている。

## 特長

- ① 液噴霧と解砕が同時にできるため、工程の短縮が可能である。
- ② 液噴霧部と解砕部が、それぞれ取り外しがワンタッチで可能なため、液噴霧解砕混合、解砕混合、混合のみと多目的に使い分けができる。
- ③ ロックミキサーの特長をそのまま活かしており、混合容器の脱着が容易である。

(大嶋 記)

## ■主な仕様

形 式	RMDL-30 (ST) MC
ワンバッチ処理量	15 ℓ (15kg)
混合容器回転数	39 rpm
混合容器揺動数	12 spm
解砕羽根回転数	370~1300 rpm
揺動角度	40度 (左右各20度)
液送ポンプ	ダイヤフラム式
最大吐出量	110 m ℓ/min
最大吐出圧力	10 kgf/cm <sup>2</sup>

(注) spm: 揺動ロッドの1分間当たりのストローク数

